

美浜町社会福祉協議会

吉右エ門さん家

令和元年度小規模多機能型居宅介護サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 2日 (19:00~20:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	6人	0人	6人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時の情報を共有する為に、身体的情報や生活歴がわかる記録用紙を作り活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・記録用紙の作成はせず、別紙にて利用者情報を伝える工夫をした。統一した様式ではなかった為に、情報の共有ができなかったケースが多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	4	1	0	6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	2	3	0	6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	4	0	1	6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	3	2	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前には、フェースシートにて情報を得て初期支援をしている。 ・初期の情報を元に、本人と家族が必要としている支援を開始し、その後適宜ケアプランの見直しを行なっている。 ・利用開始時は、本人の不安を軽減するように話を聞いた。また家族の介護負担を考慮してこまめな声かけや、連絡帳での細かいやり取りを心がけて行なった。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティングで情報の共有を行う前に、サービスが開始になる時は、情報量が少ないまま新規利用者の対応を行うことがあった。 ・サービスを利用後に、気がついたことや確認したことがあったときには話し合いを行なったが、記録に残していないことがあった。 ・利用者が何を目標として利用を始めたのかが見極められていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前と利用開始後(1週間を目途)に13:30~14:00の間に情報を共有するためミーティングを行なう。 ・開始前のミーティングでは、フェースシートと小規模計画書を必ず用意する。 ・開始後のミーティングでは、小規模計画書(コピー)を用意し、適宜変更事項などを追加記入する。 ・小規模計画書には、どのような配慮が必要かを記入し職員全員が把握できるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 2日 (19:00~20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	1人	2人	1人	6人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・小規模計画書は、職員がいつでも確認が出来るように一冊のファイルにまとめ、確認後各職員がサインをする。・本人が「～したい」と望んで支援した内容などは、具体的に記録に残し、次の支援に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・小規模計画書は、一冊のファイルにまとめたが、職員全員がいつでも閲覧できる場所に保管していなかった。・本人が「～したい」と望んで支援したときに、介護記録に本人の様子や気持ちの記録が充分なされていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	1	5	0	6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	4	0	6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	1	4	0	6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	1	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者と密にかかわり、本人の心境など新しい情報があればミーティングで共有し、本人のやりたいことに沿えるように検討している。・日常の自立支援を通し、本人が在宅生活でやりたいことができるような、身体づくりや、やる気づくりの支援ができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・本人の支援内容が変わった時に、介護記録用紙の「目標」の変更ができておらず、職員への周知ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・利用者がサービスを使うことで自己実現ができるよう、より具体的に計画書を作る。・小規模計画書は職員がいつでも見られる場所に保管し、確認後サインをする。・当面の目標 (短期目標) が達成できなかったときには、月一回の内部会議で進捗状況を記録し、振り返りを行う。・本人の支援をした時は、介護記録の「かかわり」欄に、支援後の本人の様子や気持ちを記録する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 2日 (19:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	1人	2人	0人	6人

前回の改善計画
利用者に関わる時は、利用者の生活歴や思いを知る機会と考えて、話を引き出す。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者との時間を大切に、あいさつや健康チェックの時などの短い時間でも、本人の生活歴や考えておられることなどを教えてもらうよう心掛けた。
身体の不調や家族間の悩みなど、本人が話やすい環境を整え傾聴している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	0	5	0	6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	4	0	1	6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	0	0	6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	4	0	0	6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	0	0	6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・新規の利用者に関しては、利用当初はどうしても本人の情報が少なく自宅での暮らしを把握することに時間が要するが、訪問を繰り返し行った後には把握できている。
- ・本人の気持ちの変化を察知したときには職員間で共有し、本人の状況に合わせた対応をしている。
- ・ミーティングにおいて、本人が口にせずとも何を求めているのかを職員間で話し合い、積極的に共有している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・独居の方については、本人からの情報が主になるため、認知症があると、「以前の暮らし方」が把握できない。
- ・本人が日々の生活の中でできる事が十分に把握できておらず、自立できている面までも必要以上に介助してしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・軒下マップを活用し、「以前の暮らし方」が把握できるようにする。
- ・利用者の自立支援を常に意識し、できていることまで介助しないようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 2日 (19:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	5人	0人	6人

前回の改善計画	・利用者を取り巻く地域資源を理解する為に、軒下マップを作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・新規利用者の軒下マップを作り情報を共有でき、初期支援に入りやすかった。ただ用紙が保存しにくいサイズのため、改善が必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	3	2	0	6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	1	0	6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	3	0	6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	3	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域で開催されているサロンには、本人が継続して参加ができるよう、外出支援を行なった。 ・地域との関係づくりが途切れないように、地域の集まりなどの情報を確認している。 ・職員が訪問時には、近所の方とコミュニケーションをとり、本人が地域とのつながりを継続できるように配慮している。 ・利用者の生活歴や好きなことを、積極的に聞き出すよう努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・聞き出した情報が支援に活かされていない。 ・利用者と過ごす時間が日常会話で終わってしまい、支援に活かせる情報を聞き出せていない。 ・利用開始時に、本人と地域の方とのかかわりをしっかり確認できていないため、職員が地域の方とのかかわりを持ちにくい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者にかかわっている地域の方を把握して、軒下マップの落としこみ、情報を共有する。 ・新たな情報が得られた時には、情報を得た職員が軒下マップに追加記入を行う。 ・地域資源を把握し活用することで、支援のツールを増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 2日 (19:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	0人	0人	0人

前回の改善計画	なし
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	2	0	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	4	0	0	6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	5	0	0	6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	4	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">民生児童委員・福祉委員等とのつながりを密にしている。利用者の体調や気分により、通いの曜日や訪問回数や時間などを変更し、対応をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">個人情報の提供に制限があり、地域の方に対する情報提供と連携があまり進んでいない。事業所だけでは利用者を支えることが無理な面もあるが、社協の地区担当職員との連携が弱い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">事業所だけで行なえない支援は、地区担当職員を通じ地域資源を活用し、支援を行なっていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 2日 (19:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	0人	0人	0人	分からない

前回の改善計画	なし
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	4	0	1	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	3	0	2	6
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	4	0	2	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4	1	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・催し物を行うことで、地域の方が事業所に足を運んでくれている。普段でも地域の方が訪れ、利用者との会話を楽しむ機会がある。・事業所をサロンの場として活用してくれており、地域の方の身近なつどい場として利用してもらっている。・利用者の状態に合わせて、サービス担当者会議には関係機関に参加していただくとともに、変化のあったときには随時各所に電話連絡を行い情報共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・事業所を訪れる人が少なくなりつつあるが、地域の方への働きかけができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・地域の方が気楽に足を運べるよう、現在休止しているおたよりを発行し、情報の発信に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 2日 (19:00~20:00)

7. 運営

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	0人	0人	6人

前回の改善計画	
地域の方に事業所の概要について理解してもらい、事業所に対する意見や身近な相談がしやすいように、チラシを作成する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・10周年を区切りとして昨年度は事業所のチラシを作り、地域の方に改めて事業所の内容を周知した。 ・地域の方とチラシを通して話をする機会もあり、なじみの関係づくりができていると実感できた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	5	0	0	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	1	0	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	0	0	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	2	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・内部会議において、事業所のあり方について意見を述べている。 ・利用者と家族からのご意見があった時には、迅速に対応をしている。 ・運営推進会議を通してご意見をいただいたことは、改善を心がけ適宜進捗状況を報告している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との協働について働きかけができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域の行事に参加し、地域福祉の拠点として地域からの意見を取り入れられるよう務める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 2日 (19:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	2人	0人	6人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">外部研修の情報がいつでも見られるよう、案内ファイルを設置し、外部研修に積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">外部研修は資料の整理はできており情報はあがるが、勤務状態や意欲面で参加ができずにいる。一部の職員は外部研修に参加できており、事業所での報告をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	3	0	1	6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	2	1	6
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	4	1	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	1	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">ひろく地域福祉に関する研修に参加している。地域ケア会議の参加ができている。危険であると感じた利用者の行動や介助方法については内部会議にて取り上げ、職場全体でリスクマネジメントに取り組んでいる。運営推進会議で接遇についてご意見があった為、内部研修を行い改善に努めている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">地域福祉支援部職員は、介護事業所関係の研修には参加できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">職員一人ひとりが自己の年度目標が達成できるよう、「研修受講計画・履歴」を毎月記入し、進捗状況を振り返り管理者へ提出する。達成できていない時は、積極的に研修に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 2日 (19:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	0人	0人	0人

前回の改善計画	
なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	0	0	0	6
②	虐待は行われていない	6	0	0	0	6
③	プライバシーが守られている	5	1	0	0	6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	0	1	1	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	1	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・身体拘束・虐待についての研修を行っている。・利用者の中で、金銭管理など制度の利用が必要な際には対応できるように心がけている。・日常生活自立支援事業の担当者と情報共有し、必要があれば成年後見制度に結びつけられるよう心がけている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者の個人情報などを、目につくところに置いてしまうことがある。・認知症の利用者への対応で、本人の気持ちを尊重した対応ができていないことがあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・利用者の人権を侵害しないよう、職員間で注意し合いながら、優しく丁寧な対応を心がける。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	美浜町 社会福祉協議会	代表者	坂田俊明	法人・ 事業所 の特徴	古民家を改修した建物で、利用者が落ち着ける場作りを心がけている。利用者一人ひとりが、自宅で今までと変わらず暮らせるよう、通いの時に家事に参加できるよう伝えている。地域住民がサロンの場として建物を活用したり催しに参加することで、利用者となじみの関係づくりができることを大切にしている。また、おたよりやブログの配信により、地域住民とのかかわりの様子などを紹介し、地域福祉の拠点になるよう努めている。
事業所名	吉右エ門さん家	管理者	野原由美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	なし		改善計画は具体的になっているが、運営推進委員が事前に資料をいただいたときに、その内容が専門的すぎるため分かりづらい。より実施内容が理解しやすいように表現方法を工夫してもらおうと、評価をしやすくなると思う。	事業所評価の内容を、分かりやすくまとめる。ご意見をいただくときには補足説明をして、地域の方のご理解をいただく。
B. 事業所のしつらえ・環境	職員が不在になるときには、玄関に問い合わせ先を記入したお知らせボードを掲示するようになる。	職員が不在時は、連絡先がわかるよう、ボードを設置した。	駐車場が広く除草が大変だと思う。駐車場所を時々変えることで草が生えにくくなるので、工夫をしてみてもどうか。	駐車場が今後も使用しやすいように除草の対応を行い、来訪者に気持ちよく使用していただく。
C. 事業所と地域のかかわり	今まで行事などに参加をしてもらっていない方にも声かけができるよう、地域住民の方に情報を頂きながらお誘いをする。	行事の時には、地域住民同士で誘い合って参加いただけるように、チラシを配る時に声をかけている。	サロンの場として使っている高齢者も建物に入りやすく、また職員とも顔なじみになるので将来介護を受けるようになっても安心だと思っている。	なし

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	なし		地域の行事でも、今まで参加していないものがある。希望があれば、観音講など出かけても良いのではないか。	サロンを含めた地域の様々な行事について、利用者の希望を聞き、可能であれば参加できるように対応する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	なし		運営推進会議で、認知症の方への対応について意見がでたが、それについては、職員は改善しようと取り組んでいる。	なし
F. 事業所の防災・災害対策	災害時に備えて、必要な備品の整備を行なう。	備品の整備を行い、災害時には対応できるように、防災計画を策定している	地域の防災訓練には参画はしていないが、職員は地域住民と一緒に参加している。	災害時の備蓄に関しては、保管場所が分かるように表記する。